

# デジタル・アーキビスト ニューズレター

特定非営利活動法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構

URL:[http://www.gakujoken.jp/nintei\\_kikou/index.htm](http://www.gakujoken.jp/nintei_kikou/index.htm)

## デジタル・アーカイブスの3つの視点 京都橋大学現代ビジネス学部教授 谷口知司



デジタル・アーカイブを考えるにあたり、私はかねてから3つの視点を提唱している。これらの3つの視点からデジタル・アーカイブを捉えることで、デジタル・アーカイブの意味がより明確になる。

一つ目が“今”を記録し残すという視点であり、二つ目は“過去”を発掘するという視点である。そして三つ目が“運動”としてのデジタル・アーカイブ(地域の固有価値の発見と再確認)の視点である。“今”を残し“過去”を発掘するという作業のプロセスの中で、地域社会において、地域の住民自らが参加し、継続的に資料や素材を収集するための“運動”とも呼べるデジタル・アーカイブの作成過程での継続的、持続的な営みが重要な意味を持つ。それぞれの地域には、豊かな歴史と伝統に根ざした文化や産業がある。こうした地域が歴史的に継承してきざまざまな方言、祭り、習俗、文化財など地域に点在する情報資源を見直し、自分たちの郷土に誇りをもてるようにすることは地域活性化のために重

要である。このために、地域に埋もれた様々な資源を掘り起こすことが重要な意味を持つ。例えば自分たちが住む地域の中で、カメラを構えて写真を撮るという“日常の中の非日常的な行為”によって、日常見せなかつたような多くの新しい視点にめぐり合うことがある。こうした地域がもつ宝物探しの中に、そしてそれらをデジタル・アーカイブ化する作成過程で、地域住民が自らの地域をより知り、地域の魅力を知り、愛情を持ち、新しい魅力を創出するといった、地域の再発見、文化の再発見につながる契機が存在する。これは、例えば消滅に瀕していた文化の再活性化、あるいは地域住民の地域へのアイデンティティの強化などへとつながり、地域の再創造にまでいたる潜在力を持つ。

このような発想が果たしてどこから生み出されたのかというと、これはまさしく観光学の発想である。「観光」とは、地域社会における固有価値としての文化に光を当て、それを再認識・再構成して地域内外に発信することで、交流や連携を生み出して、地域の活性化を導いていく行為でもある。その本義の拠り所、「国の光を観る」(『易経』)が示唆するように、固有価値として地域社会の光である地域文化を、地域住民がいかに示すのか、そして観光者はこれをいかに受け止め学び取り、自らの地域社会へ帰ったときにその成果をどのように活かしていくのか。こうしたことから始まる交流と連携によってお互いの地域がブラッシュアップを図っていくことができるのである。

このようにデジタル・アーカイブと観光という、まったく異なったものと考えられがちなものが手を結び新たな学問領域が創造されていくのである。そしてまだまだ私たちが気づいていない多くの分野でデジタル・アーカイブの確かな役割を見出せる予感が私にはある。そしてそれらの多様な領域でデジタル・アーキビストの活躍することのできる場があることについても確信しているのである。

### C O N T E N T S

デジタル・アーカイブスの3つの視点	1
平成21年度資格取得試験 日程のお知らせ	1
資格取得者の声	2
資格取得の状況	2
お知らせ 更新のお知らせ	3
養成機関からのお知らせ	4
養成機関の案内	4

## 平成21年度 資格取得試験日程のお知らせ

### デジタル・アーキビスト

・全国一斉テスト(単位取得者):平成22年3月7日(日)予定

### 準デジタル・アーキビスト

・単位取得者:平成21年9月6日(日)、平成22年3月7日(日)  
・随時(各養成機関が開催する講習会で試験を実施)

### デジタル・アーカイブ・コーディネータ

・随時(各養成機関が開催する講習会で試験を実施)

## 準デジタル・アーキビスト資格取得講座を受講して

デジタル・アーキビスト(以下、DA)の資格を取得するために参加した、2006年「冬の高山」ならびに「夏の白山・白川郷」研修がとても印象に残っています。この二泊三日の宿泊研修では、岐阜県が有する大自然の雄大さや古日本の文化に触れるとともに、著名な講師陣の授業や実技演習、さらにはグループワークによる異業種間の交流など感慨深い思い出です。また同じ年の秋には、『DA入門』の執筆委員に加えて頂き、郷里の村祭りの撮影や社寺への取材が私のDA活動の第一歩でした。

ところで先日、教え子が訪れ「高校の情報は楽勝だよ」と言いますので、その理由を問い返してみると、彼らが中三の時に使用した『DA入門』テキストが功を成したようです。元来このテキストは、高校生や大学生をターゲットに制作した入門書なので、中学生には少し難しいかなと考えつつ、内容の検証も兼ねて自分の授業で実践を試みたわけです。

一学期は、CCDや画素数、量子化・標本化、構図やホワイ

トバランスなどデジタル技術の基礎を体験的に伝授した後、沖縄修学旅行において実践的なアーカイブに挑ませました。さらに二学期

には、著作権や肖像権、文化財保護法などを学ばせた後、地域の祭りや地域文化を教材にして授業をすすめました。

新学習指導要領(中学校技術科「情報に関する技術」)では、高校の学習内容が大幅に加わるようで、少し背伸びをした本実践が時代の半歩先を歩んだように自負しています。



この二年間で約400名の生徒にDA活動を啓蒙してきましたが、将来どんな形で活かされるのか拳証が楽しみです。なお、一連のDA研修を私の研究グループのWebに掲載していますのでご覧いただければ幸いです。

<http://www.ica-j.org/>

## 資格取得の状況(平成21年3月8日現在)

平成18年7月5日に内閣総理大臣より特定非営利活動法人の設立を認定されて以来、現在までに多くの方々に資格を取得していただきました。

なお、取得者の内訳は以下の通りとなります。



講座風景

	上級デジタル・アーキビスト	デジタル・アーキビスト	準デジタル・アーキビスト	デジタルアーカイブ・コーディネータ	合計
取得者数	47名	168名	737名	175名	1,127名

### 取得者の職業(※資格を2つ以上取得している場合は1名とする)

大学・短大(教職員・学生)	368	情報通信メディア	7	学校図書館	10
大学院(教職員・学生)	7	メディア(新聞社・放送)	5	県・市町立図書館等	39
研究機関	9	コンサルタント	3	企業図書館	1
高校生	56	印刷・出版会社	6	国立博物館	3
教員(高等学校)	44	書店	2	県立博物館・歴史・自然博物館	17
教員(保育・幼稚園・小学校・中学校)	54	保険会社	2	市立博物館・郷土博物館	13
情報・経理・医療専門学校	11	楽器制作所	1	企業博物館	3
視聴覚教育関係団体	3	国立図書館	4	県・市立・私立の工芸・美術館	5
企業	94	大学図書館	26	企業美術館	3

### 取得者の職業（※資格を2つ以上取得している場合は1名とする）

企業他資料館	4	市役所	12	福祉	7
史料館	4	市立児童館	3	NGO	2
市立民俗歴史資料館	1	県立生涯学習センター	7	建築設計	4
国の省庁	2	国際協力センター	2	郷土史研究	2
県庁	8	公共ホール管理財団	3	無記入	113
県施設	11	公共施設・財団等	20	その他	35
県・市町村教育委員会	29	介護・子育て支援センター	2		

## お知らせ

### 新しい役員紹介（自2008年12月9日 至2010年12月8日）

会 長：後藤 忠彦（岐阜女子大学）

常務理事：生田 孝至（新潟大学）

理 事：佐々木正峰（国立科学博物館）

理 事：菱村 幸彦（（財）学習ソフトウェア情報研究センター）

理 事：若山皖一郎（十文字学園女子大学）

監 事：浅野 孝明（NPO法人地域資料情報化コンソーシアム）

## 更新のお知らせ

資格取得後、技術や社会の変化に対応できるよう、3年ごとに更新するシステムです。認定養成機関の講習会に参加し、申請することにより資格の更新ができます。

### ◇平成21年度更新対象者の方

- ・対象者:認定証の有効期限が平成21年3月31日の方
- ・手続きの方法:該当者の方にご連絡いたします。

※所定の手続き方法に従い、更新の申請を行ってください。

なお、更新を行わない場合は、資格がなくなりますので、ぜひ更新を行ってください。

## 2009年度からデジタル・アーキビスト養成のための通信教育を開始 必修科目(11科目)を通信教育で単位取得可能に

特定非営利活動法人(NPO)地域資料情報化コンソーシアムは2000年11月に地域の文化資料デジタル・アーカイブズの制作とその活用に関する事業を行い高度情報通信社会のための基盤整備を支援し、町づくりの推進を図ることを目的に設立されました。

それ以降に実施した主な事業は長良川水文化デジタル・アーカイブ(岐阜県などより委託)、長良川を知ろう～あなたの自然体験活動を支援～、飛騨の民話、「岐阜県の若人とハンガリー・チェコ大使との交流会」の記録、「いにしへの美濃と飛騨」デジタルハイビジョンによる記録、科学実験体験ソフト、米国公文書館日本関連資料写真資料、世界遺産白川郷の記録など保存情報は主にハイビジョンを用いたデジタル・アーカイブズとして十数万件に及んでいます。

一方、デジタル・アーカイブ制作には、デジタルデータで記録した情報をデータベースの各記録項目に正しく記載するために、項目の構成、構築、カテゴリー、索引語等の整備ができる能力が求められます。これらの能力を育成するために文化

資料収集データベースを試作し2003年以降改良を加え、デジタル・アーキビスト養成の教材として多数の人々に利用していただいています。

2004年にデジタル・アーキビスト資格委員会設置準備委員会を発足させ、岐阜女子大学と協力しながら、デジタル・アーキビストの養成に取り組んできました。この度、デジタル・アーキビスト養成の必修科目(その主な内容はデジタル化技術のスキル、情報の管理と流通、法的理解、情報倫理 等)について通信教育で単位を取得できるようプログラムを整備しました。現在、準デジタル・アーキビスト資格を有する方々、また、デジタル・アーキビスト資格を志す方々、ご検討をお願いいたします。【URL <http://www.npo-nak.com>】



千本松原



長良川で移動する舟上でのEGGレンズビデオ撮影



排水機場上空より(輪中内の汚水を河川に排出する)

### 養成機関

養成機関は以下のとおりです。各主催の講座・試験などについては、各機関のHPをご覧ください。

岐阜女子大学、NPO法人地域資料情報化コンソーシアム(岐阜県)／常磐大学(茨城県)／  
奈良産業大学(奈良県)／(株)レ・サンク(静岡県)

特定非営利活動法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構(事務局)

URL:[http://www.gakujoken.jp/nintei\\_kikou/index.htm](http://www.gakujoken.jp/nintei_kikou/index.htm)

本部事務局 〒160-0012 東京都新宿区南元町23番地 公立共済四谷ビル4F

岐阜事務局 〒500-8813 岐阜県岐阜市明徳町10番地 杉山ビル4F 岐阜女子大学文化情報研究センター内  
TEL:058-267-5301/FAX:058-267-5238 E-mail:da@gijodai.ac.jp

東日本支部 〒310-8585 茨城県水戸市見和1-430-1 常磐大学コミュニティ振興学部坂井研究室内  
TEL/FAX:029-232-2973 E-mail:tsakai@tokiwa.ac.jp